

「来年 世界が減ぶとも」

山口県 ちようとくじ 長徳寺住職 河谷正也 かわたにしやうや

私は、椎茸の栽培をしています。最初に椎茸栽培に関心を持ったのは、三十年くらい前のことです。秋の終わる頃、私はお寺の屋根にかかるクヌギの枝を切りました。その時、クヌギに椎茸の菌を打ち込み栽培することを知っていた私は、せっかくだから椎茸栽培に挑戦してみようと思いました。

早速ホームセンター、椎茸の菌を購入し、ほだぎ 榎木を作りました。そして、次の日から椎茸の観察を始めました。でも、何日も何日も気にかけるのですが、椎茸菌を植えた榎木には何の変化もありません。椎茸栽培は、素人には難しいことなのかと諦めかけたりもしましたが、書物で詳しく調べてみることにしました。本には、驚きの内容が示してありました。なんと椎茸が実際に収穫できるまで、二年はかかるということです。そんな気の遠くなるような時間が必要だとは……。しかし、月日は矢のように過ぎ去り、二年後には立派な美味しい椎茸を食べることができました。

禅の教えの中に「考える前に、先ずは動け」と説かれたものがあります。椎茸栽培に挑戦した私の行動は、那样的外れなことでもなかったようです。うまく行くか行かないかは後のごとで、今、行いをする事に重きがあるのです。

大本山永平寺を開かれた道元禅師様は、「世の中は、常に移ろい流れている。人の命も何時尽きるか分からない。そうだからこそ結果がどうであれ、今できる事をするべきである」とお示しになっています。明日は、来月は、来年は？未来のことは分かりませんが、今日の行いを大事にしたいものです。